

ふるさと信州・環の住まい基本指針(案)の基準一覧

基本事項						
項目	基準					
	内容	規定方法				
省エネルギー	次世代省エネルギー基準を満たす気密断熱性能を有するものであること。	次世代省エネルギー基準 CASBEE-すまい(戸建)の採点基準「 $Q_{H1.1.1}$ 断熱・気密性能の確保」のレベル5				
県産木材の利用	県産木材を使用していること。	<table border="1"> <tr> <th>在来工法 (および を満たすこと)</th> <th>その他の工法 (および を満たすこと)</th> </tr> <tr> <td>50%以上または延床1㎡あたり0.1㎡以上 12㎡以上</td> <td>50%以上かつ延床1㎡あたり0.1㎡以上 12㎡以上</td> </tr> </table>	在来工法 (および を満たすこと)	その他の工法 (および を満たすこと)	50%以上または延床1㎡あたり0.1㎡以上 12㎡以上	50%以上かつ延床1㎡あたり0.1㎡以上 12㎡以上
在来工法 (および を満たすこと)	その他の工法 (および を満たすこと)					
50%以上または延床1㎡あたり0.1㎡以上 12㎡以上	50%以上かつ延床1㎡あたり0.1㎡以上 12㎡以上					
住宅の長寿命化	すみ柱の小径、基礎の高さ、換気孔について、一定の基準を満たすものであること。	CASBEE-すまい(戸建)の採点基準「 $Q_{H2.1.1}$ 躯体」のレベル4以上				
バリアフリー化	床の段差、廊下や出入口の幅等について、一定の基準を満たすものであること。	CASBEE-すまい(戸建)の採点基準「 $Q_{H2.3.2}$ バリアフリー対応」のレベル4以上				
総合的な環境性能	一定以上の環境性能を有するものであること。	CASBEE-すまい(戸建)のAランク以上				

選択事項 < 組合せ自由、いずれか3項目以上を実施 >						
項目	基準					
	内容	規定方法				
省エネルギー性能の向上	次世代省エネルギー基準を一定以上上回る気密断熱性能を有するものであること。	熱損失係数が、 地域で1.5以下、 地域で1.9以下、 地域で2.1以下				
二酸化炭素排出量の積極的削減	LCCO ₂ 排出率が、一般的な住宅に対し一定以上削減するものであること。	CASBEEすまい(戸建)の採点基準「 $LR_{H3.1}$ 地球温暖化への配慮」のレベル5				
自然エネルギーの利用	自然エネルギーを有効に利用するものであること。	太陽熱利用システムや太陽光発電システムなどの設置				
県産木材の積極的利用	県産木材を積極的に使用するものであること。	<table border="1"> <tr> <th>在来工法 (および を満たすこと)</th> <th>その他の工法 (および を満たすこと)</th> </tr> <tr> <td>70%以上または延床1㎡あたり0.14㎡以上 17㎡以上</td> <td>70%以上かつ延床1㎡あたり0.14㎡以上 17㎡以上</td> </tr> </table>	在来工法 (および を満たすこと)	その他の工法 (および を満たすこと)	70%以上または延床1㎡あたり0.14㎡以上 17㎡以上	70%以上かつ延床1㎡あたり0.14㎡以上 17㎡以上
在来工法 (および を満たすこと)	その他の工法 (および を満たすこと)					
70%以上または延床1㎡あたり0.14㎡以上 17㎡以上	70%以上かつ延床1㎡あたり0.14㎡以上 17㎡以上					
木質バイオマスエネルギーの利用	木質バイオマスエネルギーを利用する暖房設備を設置するものであること。	主たる暖房器具としての薪ストーブやペレットストーブなどの設置				
維持管理をしやすくする対策	コンクリート埋設や地中配管上へ土間設置をしない等の一定の基準を満たすもの 住宅に不具合が生じた際に追跡調査できる体制があること。	CASBEEすまい(戸建)の採点基準「 $Q_{H2.2.1}$ 維持管理のしやすさ」のレベル3以上				
		住宅の基本情報および建物の維持・管理の履歴の管理				
克雪対策	克雪対策を実施するものであること。	屋根の構造、勾配等により自然を落雪させ、敷地内に落雪スペース等を設置すること など				